

# PM2.5(微小粒子状物質)にご注意!

ニュースでよく耳にする「PM2.5」というコトバ。空がかすんで見えて、何となく体に悪いイメージなのですが…。そこで今回は、改めて「PM2.5」とは何なのか、暮らしへの影響についてお伝えします。

## 対応は?

注意喚起が発表されたら、不要不急の外出や屋外での長時間の激しい運動を減らし、マスクを着用しましょう。屋内でも換気や窓の開閉を必要最小限にしましょう。

## PM2.5とは

自動車の排気ガスや工場・事業所からの煙に含まれる2.5μm(マイクロメートル)以下の大気汚染物質を指します。

## 濃度が高くなると…

PM2.5濃度の日平均値が70μg/mを超えると予想される場合は、佐賀県から注意喚起が発表されます。

## 健康への影響

非常に小さいため、肺の奥深くまで入りやすく、ぜん息や気管支炎など呼吸疾患や不整脈や心臓発作、花粉症など循環器系の疾患をもたらす可能性が高く、影響が懸念されています。

## いつ頃多い?

例年3月から5月にかけて濃度が上昇します。日差しが強く、気温が高く、風が弱い日は要注意です。



## ▼問い合わせ

市民生活課 生活環境係

☎75-6117

# 3月1日(水)～3月7日(火) 春の火災予防運動

平成28年度 全国統一標語

『消しましょう その火その時 その場所で』

春先は強風や乾燥、暖房器具の使用等で火災が発生しやすい時期です。尊い命や財産を守るため、火災ゼロを目指しましょう!

## ◎命を守る3つの習慣・4つの対策

### 《3つの習慣》

- ①寝たばこは絶対にしない。
- ②ストーブ周りに可燃物を置かない。
- ③コンロのそばを離れるときは、必ず火を消す。

### 《4つの対策》

- ①逃げ遅れないために住宅用火災警報器を設置する。
- ②寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- ③火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器を設置する。
- ④高齢者や身体の不自由な人を守るために隣近所との協力体制をつくる。



## ▼問い合わせ

佐賀広域消防局 予防課

☎33-6765

# 4月から 福祉タクシー利用券の申請を受け付けます

重度の心身障害を持つ人に、タクシー利用助成のための福祉タクシー利用券(1枚500円・1年分で20枚)を交付します。申請月が遅くなると、交付できる枚数が減りますので、希望する人はお早めに申請してください。

## ◎対象者

自動車税等の減免を受けていない人で、①～③のいずれかに該当する人

- ①身体障害者手帳の1、2級の所持者
  - ②療育手帳Aの所持者
  - ③精神障害者保健福祉手帳1級の所持者
- ◎申請に必要なもの 障害者手帳、印鑑

## ▼受け付け・問い合わせ

福祉課 高齢・障害者福祉係

☎75-4823

